

「ウインドウディスプレイプロジェクト」 JR京都伊勢丹にて展示開始

～京都造形芸術大学の学生がデザイン～

>>>2012.06.27

株式会社アルビオン(東京・中央区、社長:小林章一)は、京都造形芸術大学の学生がデザインしたウインドウディスプレイを、ジェイアール京都伊勢丹にて展示しています。

「ウインドウディスプレイプロジェクト」と題して4月から行われていたこの取り組みは、アルビオンの商品テーマに沿ったウインドウディスプレイを京都造形芸術大学の学生がデザインし、ジェイアール京都伊勢丹に展示するというコラボレーション企画です。約1000案ものアイデアの中から選ばれたデザインは、制作から設置まで学生の方に行っていただきました。

ウインドウディスプレイは、発売から38年を迎えた「薬用スキンコンディショナーエッセンシャル」の商品をテーマに、長い時間をかけて壮大に美しくなる冰山と重ね合わせ、同商品の主要成分であるハトムギの海に冰山を浮かべるというアイデア。商品のイメージにもマッチし、斬新な発想が採用の決め手となりました。

アルビオンでは以前にも同所でのウインドウディスプレイを活用し、自社の店舗開発部門がデザイン等を行っておりましたが、より新しいアイデアや表現を模索するなかで、京都造形芸術大学とジェイアール京都伊勢丹のご協力のもと今回のプロジェクトが実現しました。学生の方にこれまでにない自由な発想と感性でアルビオンを表現していただくとともに、未来を担う皆さんに活躍の場を提供できればとの思いから生まれた初の取り組みです。あわせて、7月4日からは同商品のイベントも行う予定です。

